



一般社団法人 心の絆プロジェクト ご案内

ご挨拶

心の絆プロジェクトでは、東日本大震災の被災地で
心とからだの健康を守り増進するための活動を2年間続けてまいりました。

さらに今後の活動継続には、医療を中心とした支援が重要です。

ぜひともより多くみなさまのご協力とご参加を

賜りますようお願い申し上げます。

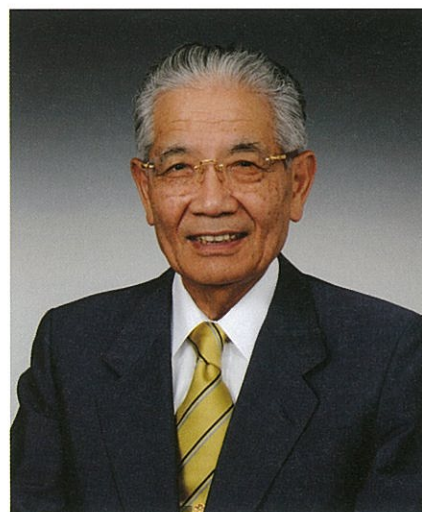
復興の先行きが不透明ななか、プロジェクトでは全国から多くの医療関係者が集い、被災した人々がストレスをためないための様々な取り組みを行ってきました。こうした取り組みは、予防医療の観点からも、継続的な支援のあり方について、考えていく必要があると感じております。このプロジェクトでは従来の医療活動の枠を超え、産官学民が一体となり、惜しみない協力をし合いながらつくりあげてきました。その意味では、これまでの医療活動では過去に例を見ない画期的な活動でした。

課題・問題が山積し、希望を見いだすことが困難な日本ですが、活動を見る限りまだまだ未来があると確信できます。これからの医療の世界に必要なのは古い価値観でなく、医療従事者として真に果たすべき役割に立脚し、産官学民と良好な関係をもってことに当たることだと考えています。どうか、この事業を継続するため、みなさまのお力をお貸しください。

■ [理事長]

高久 史麿

(日本医学会 会長)



私たちの願いは東日本大震災の被災地に、 ひとりでも多くの笑顔を取り戻すことです。

【理事】 葉梨 之紀

(日本医師会 常任理事)



【理事】 槇島 敏治

(日本赤十字社医療センター 国際医療救援部 部長、
室蘭工業大学 客員教授)



【理事】 仲谷 博明

(前日本製薬工業協会 専務理事)



【理事】 塩見 知司

(日本対がん協会 理事・事務局長)



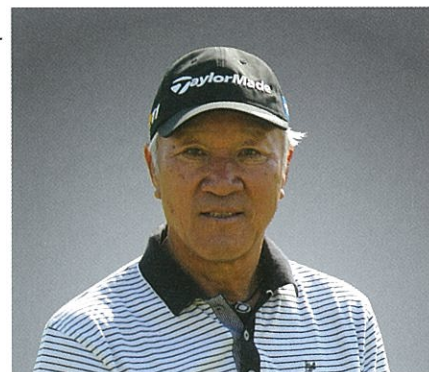
【理事】 佐藤 國雄

(医学教育振興財団 監事、
聖路加国際病院 理事)



【理事】 青木 功

(プロゴルファー)



【理事】 日野 皓正

(ミュージシャン)



【理事】 堀江 史朗

(株式会社ボストン 代表取締役)



【理事】 林 通平

(Mediate Hayashi 株式会社 代表取締役)





■ [顧問] ●赤木 繁夫(香里ヶ丘有恵会病院 理事・病院長) ●赤倉 功一郎(東京厚生年金病院 院長補佐・泌尿器科主任部長) ●阿曾沼 元博(順天堂大学 客員教授) ●足立 満(国際医療福祉大学臨床医学研究センター 教授、山王病院アレルギー内科) ●荒川 哲男(大阪市立大学大学院 医学研究科長・医学部長) ●井廻 道夫(新百合ヶ丘総合病院 消化器・肝臓病研究所 所長、自治医科大学 名誉教授、昭和大学医学部 客員教授) ●上野 幸治(税理士) ●内田 健夫(内田医院 理事長、神奈川県参与) ●江上 美芽(東京女子医科大学先端生命医科学研究所 客員教授) ●王 貞治(福岡ソフトバンクホークス 取締役会長、財団法人世界少年野球推進財団 理事長) ●大竹 美喜(アフラック 創業者・最高顧問) ●大塚 義治(日本赤十字社 副社長) ●岡野 光夫(東京女子医科大学 副学長・教授、先端生命医科学研究所(TWIns) 所長) ●小川 秀興(日本私立医科大学協会 会長、学校法人順天堂 理事長) ●音無 美紀子(女優) ●勝沼 俊雄(東京慈恵会医科大学附属第三病院 准教授) ●金澤 一郎(国際医療福祉大学 大学院長、東京大学 名誉教授) ●川島 眞(東京女子医科大学皮膚科 教授) ●河原 和夫(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療政策学講座 教授) ●紀伊國 献三(公益財団法人笹川記念保健協力財団 理事長、筑波大学 名誉教授) ●喜入 隆(ひょっとこ連 連長) ●工藤 翔二(公益財団法人結核予防会複十字病院 院長) ●近藤 麻智子(フリーアナウンサー、絵本セラピスト) ●齋藤 和樹(日本赤十字秋田看護大学看護学部看護学科 准教授) ●坂本 マヤ(割烹中置 女将) ●島田 晴雄(千葉商科大学 学長、慶應義塾大学 名誉教授) ●鈴木 光明(自治医科大学附属病院 副院長・産科婦人科学講座 主任教授) ●蝶野 弘治(弁護士) ●蝶野 慎治(まちだ胃腸病院 院長) ●高岸 壽美(和歌山赤十字看護専門学校 副学校長) ●東田 有智(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科 教授) ●永井 厚志(東京女子医科大学 理事 医療施設統括責任者) ●中村 清吾(昭和大学医学部乳腺外科 教授) ●西村 正治(北海道大学大学院呼吸器内科学分野 教授、日本呼吸器学会 理事長) ●西村 由希子(特定非営利活動法人知的財産研究推進機構 理事) ●西山 正徳(翠会精神医学研究所長、一般社団法人メディカル・プラットフォーム・エイシア 理事長) ●芳賀 駿介(日本医科大学乳腺外科 教授) ●原元 美紀(フリーアナウンサー) ●樋口 和秀(大阪医科大学附属病院 副院長・消化器内科主任教授) ●樋口 輝彦(国立精神・神経医療研究センター 理事長・総長) ●福地 義之助(順天堂大学呼吸器内科 客員教授、一般社団法人GOLD日本委員会 代表理事) ●藤岡 恵美(赤坂紀の川 女将) ●別役 智子(慶應義塾大学医学部呼吸器内科学教室 教授) ●前田 潤(室蘭工業大学環境科学・防災研究センター 准教授) ●前田 健康(新潟大学歯学部長) ●益田 祐美子(映画・コンテンツプロデューサー、株式会社平成プロジェクト 代表取締役) ●武藤 徹一郎(がん研究会 上席常務理事・メディカルディレクター) ●室伏 きみ子(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 教授) ●門田 守人(公益財団法人がん研究会有明病院 院長) ●安光 達雄(スポーツ健康科学者、PCY,Ltd. 代表取締役CEO) ●山下 武子(公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会 理事・事務局長) ●山田 理恵子(東京女子医科大学東医療センター 助教) ●吉野 りこ(歌手) ●與田 雅晴(一般社団法人リボンムーブメント) ●渡邊 和雄(株式会社ジェイ・ツー 代表取締役)

■ [監事] ●野口 守彦(Mediate Hayashi 株式会社 特別顧問・監査役)

■ [統括プロデューサー] ●林 通平(Mediate Hayashi 株式会社 代表取締役)

平成25年3月現在

心の絆プロジェクトは、被災地での健康セミナーやスポーツセミナー、お茶会、演奏会など様々な取り組みを通じて、心のケアに向けた活動をしてきました。

被災地56か所をメンタルケアのキャラバン隊が訪問しました。

【2011年の主な実績】「自分も、みんなも、健康でなくっちゃね。」を合言葉に、2011年7月23日から9月4日までの毎週土曜、日曜に東日本大震災の被災地域の青森、岩手、宮城、福島、そして避難先の埼玉の各県の仮設住宅や避難所の集会所など56か所にキャラバンが訪問。避難生活や健康への不安、肉体的・精神的な疲労を抱えた人びとに少しでも心の安らぎを提供しようと、ストレスケアのための「健康セミナー」、子供たちに絵本の読み聞かせやお絵かき会、演奏会などの「プレイング・イベント」などを実施しました。



健康セミナー



音楽会



絵本の読み聞かせ



先生と個別に相談



これからの新しい地域医療を目指して被災地での医療再生を考えました。

【2012年の主な実績】岩手、宮城、福島の各県で9月23日から10月6日まで、被災地医療の現状とこれからの医療再生のための「市民医療シンポジウム」を開催しました。さらにこの会場では避難生活で疲れたからだの健康チェックやリラックスしてお茶を飲みながらの医師や看護師、保健師との健康アドバイスコーナーなどの健康相談会を実施。そのほか心もからだもリフレッシュする「心の絆演奏会」や「マッサージ・ケアサービス」などのお楽しみアトラクションも併せて行いました。



シンポジウム



パネリスト



講演



健康相談会



宮古あばれ太鼓



ひょっとこ連阿波踊り



仮設住宅に訪問

一般社団法人 心の絆プロジェクトの概要

法人名	一般社団法人 心の絆プロジェクト
理事長	高久 史磨(日本医学会 会長)
理事	三上 裕司(日本医師会 常任理事) 榎島 敏治(日本赤十字社医療センター 国際医療救援部 部長、室蘭工業大学 客員教授) 仲谷 博明(日本製薬工業協会 専務理事) 塩見 知司(日本対がん協会 理事・事務局長) 佐藤 國雄(医学教育振興財団 監事、聖路加国際病院 理事) 青木 功(プロゴルファー) 日野 皓正(ミュージシャン) 堀江 史朗(株式会社ボストン 代表取締役) 林 通平(Mediate Hayashi 株式会社 代表取締役)
目的	● 東日本大震災の被災地である福島・宮城・岩手の未来を担う子どもたちと、これを支える被災3県の全県民の幸せを願い、安心・安全な福島・宮城・岩手を国内外に強くアピールし、風評被害を払拭する。 ● 福島・宮城・岩手の誇りあるふるさとを再生するとともに、地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備と、地域社会の健全な発展を目的とする。
事業	① 福島・宮城・岩手県民の心身の健康を守り増進するための事業。 ② 福島・宮城・岩手県民の健康・医療に関する情報収集、情報発信、セミナー・研修会・イベント等の開催に関する事業。 ③ 福島・宮城・岩手県民の環境および観光に関する情報収集、情報発信、セミナー・研修会・イベント等の開催に関する事業。 ④ 福島・宮城・岩手県への観光を促進させるための行事やスポーツ・音楽等のイベント等の開催に関する事業。 ⑤ 福島・宮城・岩手県への帰郷を促進させるためのセミナー・研修会・イベント等の開催に関する事業。 ⑥ 放射能に関する知識の啓発のためのセミナー・研修会・イベント等の開催に関する事業。 ⑦ 福島・宮城・岩手県の復興を目的とする法人、団体、関係機関等に対するサポートに関する事業。 ⑧ 福島・宮城・岩手県の復興のための関係機関との連携、調整に関する事業。 ⑨ その他この法人の目的を達成するために必要な事業。
事業所所在地	〒107-0062 東京都港区南青山1-3-1
お問い合わせ	info@kokoronokizuna.jp